

逆風吹き荒れる保険業界 増加する不正請求者

「2005年4月に施行された個人情報保護法が不正請求者の追い風になってきたところへ、06年6月の最高裁判決で保険会社に偶然性の立証責任が課せられ、さらに保険金不払いを理由に保険会社に圧力をかける人が増えています」

こう語るのはインスペクト(Inspect)の松本雅裕社長だ。同社は「モラルリスク(不正請求や保険金詐欺)」を中心とした保険調査業務を展開している。

保険加入者のモラルの低下が進んでいるといわれているさなか、保険業界において、保険金不正請求者と対峙し続けている企業だ。

個人情報保護法が施行されたことで、事故歴の保存は制限され、また利用目的をあらかじめ通知し、当事者の了解を得ないと何も情報が取れない。不正請求には常習性があり、事故歴は調査上重要な位置を占める。こうした中、いかに正確な情報を入力し、何をもって正しいと判断するか、という緻密な調査が求められる。

「すべての調査が任意という難しい状況で、保険調査会社は事実を特定し、不正請求者と善良な契約者を見極めねばなりません。今後は一層、行政との協力が不可欠であると考えています」(松本社長)

調査ノウハウとシステムを融合し、 調査業界に新風を起す

欧米と比べ、日本では保険犯罪のインフラが整備されていなく、不正請求は増え続けているのに、対応できる保険調査員の数が少ない状況にあるという。

そんな中、同社はシステム開発会社と事業統合し、保険調査業界では珍しい「Inspector」という不正請求判定システムを開発。これにより従来、案件ごとに調査員個人の資質と経験に頼ってきた調査業務を体系化し、社員教育や保険会社での研修に役立てている。

また、言葉の通じない外国人被害者に対し円滑な事故処理をするために「初動対応フォーマット」も作成。このフォーマットは9カ国語に翻訳され、保険会社も正確な被害者情報が入手できる。

保険調査の立場から、外国人も安心できる環境づくりに取り組む同社は、社会に貢献できる総合調査会社として社会正義を追求していく。



松本 雅裕 社長

◇住所=大阪府大阪市中央区
内平野町2-4-5
内平野中央ビル3F
(☎06-6943-8615)
◇資本金=1000万円
◇ホームページ=
<http://www.hoken-inspect.jp>

伸びる 企業には

理

由

がある

シリーズ ①⑦

わけ

インスペクト (inspect)